



MDP

MATCHDAY PROGRAM

4.20 (土) *Sagan*14:00 KICK OFF  
vs 鹿島アントラーズ

自分を変える。  
リーダーとしての  
自覚と責任  
を背負う  
覚悟  
追

DF 2

山崎 浩介  
Kosuke YAMAZAKI

自身にとって初めてのJ1でのプレーとなった昨季はサガン鳥栖加入1年目ながらリーグ戦33試合に出場。山崎浩介は鳥栖の最終ラインの要としてチームに欠かせない存在となった。シーズンをフルに戦い抜いたことで「自分ができたところ、できなかったことを確認できたことは自分にとって大きな収穫」と確かな自信とさらなるレベルアップのための課題を手にした。鳥栖2年目を迎えるにあたって山崎にはある変化が生まれた。昨季はファン・ソッコに引張られる形で自分のプレーに重きを置いておけばよかったが、頼れるディフェンスリーダーが移籍。ファン・ソッコからは「もっとやれるよ。チームを自分が引っ張っていくくらいの気持ちでいいんじゃない」と言葉を掛けられた。「昨季得たものを生かして今シーズンはもっと自分がディフェンスの中心になっていかないといけないと思っています。そこについては自覚をもって取り組んでいるつもりです」。確かに芽生えたディフェンスリーダーとしての意識はピッチ内外での振る舞いにも表れている。もともとは多弁でも感情をあらわにするようなタイプでもないが、今季は開幕前からリーダーシップを感じさせるような振る舞いが見られるようになっていく。

さらに今季は4人制の副キャプテンの一人にも就任。試合ではキャプテンマークを巻いて出場するなど自覚とともに責任も背負っており、その姿も板についてきた。第6節ヴィッセル神戸戦では味方がファウルを受けた際には主審に激しく抗議するなどチームの先頭でチームメイトを守ろうとする姿も見せた。開幕からチームは苦しい戦いが続くが、苦しいときにこそ、その姿勢が問われるのがリーダーという存在だ。山崎はこの困難から決して逃げない。先頭を立ててこの暗闇から抜け出すための道を示していくのがリーダーとしての務めだからだ。痛みなくして、成長なし。この苦境を乗り越えるために山崎はさらに強くなる。その先に追い求めるリーダーとしての自分の姿が待っているはずだ。